

平成29年2月15日
東京土地家屋調査士会
研 修 部

日本土地家屋調査士会連合会研究所 平成27～28年度「研究報告会」 の開催について（お知らせ）

このたび、日本土地家屋調査士会連合会（以下「日調連」という。）より、標記報告会の開催について、別添のと通りの案内がありました。

つきましては、当該報告会の聴講を希望される会員におかれては、下掲申込書に所要の事項をご記入の上、F A X (03-3295-4770) またはEメール (info@tokyo-chousashi.or.jp)により、本会事務局までお申し込み下さるよう、お知らせ致します。

なお、聴講費は無料ですが、報告会終了後の懇親会（会費：5,000円）の参加希望についても回報が求められておりますので、当該懇親会の参加の有無についても、併せてご回報くださるよう、お願い致します。

また、本年2月24日（金）が日調連への聴講者回報期限とされていることから、本会会員の申込期限は、来る2月23日（木）午後5時までとさせていただきます、応募者多数の場合には、日調連において抽選により聴講者を決定するとのことでもありますので、ご了承くださいるようお願い致します。

なお、当該報告会が、土地家屋調査士CPDの対象となるかについては、日調連において検討中です。

***** 切り取らずご返信ください *****

日本土地家屋調査士会連合会研究所平成27～28年度「研究報告会」聴講申込書

【申込日：平成29年 月 日】

支 部 名		支 部	
氏 名	年 齢	満	歳
登 録 番 号		東 京 第 () 号	
懇 親 会 (会費：5,000円)		参加	不参加

日調連発第295号
平成29年2月15日

各土地家屋調査士会長 殿

日本土地家屋調査士会連合会長

日本土地家屋調査士会連合会研究所平成27～28年度
「研究報告会」の開催と聴講者の募集について（お知らせ）

日本土地家屋調査士会連合会研究所（以下「研究所」という。）では、全国で活躍している会員や推薦等を受けた方を研究員に選任し、土地家屋調査士制度及び不動産の表示に関する登記制度の発展や次世代の制度を見越した研究を行い、この度、平成27～28年度における研究成果を報告書として取りまとめる最終段階を迎えております。

そこで、この度、より多くの会員に研究所の研究について理解を深めていただくことを目的に、標記報告会を下記及び別紙1により開催しますので、この旨お知らせします。

つきましては、別紙2の回報書を本月24日（金）までにEメールにより、連合会事務局（担当：高橋（takahasi@chosashi.or.jp））へ送信いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 平成29年3月16日（木） 午後1時から
17日（金） 午後0時30分まで
- 2 場 所 土地家屋調査士会館3階
(東京都千代田区三崎町1-2-10)
- 3 進行予定 別紙1のとおり
- 4 留意事項
(1) 参加に要する費用につきましては、全て参加者の自己負担となります。

- (2) 会場の収容の関係上、募集者多数の場合は、大変恐れ入りますが、抽選とさせていただきます。
- (3) 初日（3月16日）終了後、任意参加ではありますが、懇親会を予定しておりますので、出席（会費は1人につき5,000円程度、当日集金します。）を希望される方は、あらかじめ別紙2の回報書にその旨を記載してください。
- (4) 懇親会参加申込み後の変更は、ご遠慮いただきますようご了承ください。
(キャンセルについて、キャンセル料が発生する場合があります。)
- (5) 本研究報告会の資料は、当日配布を予定しております。
- (6) 聴講者の当日のビデオ撮影については、ご遠慮願います。

日本土地家屋調査士会連合会研究所研究報告会 プログラム（予定）

（研究タイトルと資料タイトルが若干異なる場合有り）

（当日、若干の変更有り）

第 1 日（3/16）

司会 山谷理事

12:00～ 聴講者来場開始

13:00～13:02 開会の言葉

13:02～13:08 挨拶

13:08～13:15 趣旨説明

13:15～13:55 基調講演 「権利客体としての土地」

明治大学法学部専任教授 新美育文 殿

（研究員）

13:55～15:20

第 2 部門テーマ 「最新技術に関する研究」

（（各 25 分×3 人）及び質疑応答 10 分）

「オープンな基準点維持管理」

研究員 高島和宏

「QZSS を利用した衛星測位と土地家屋調査士における測位制度のあり方について」

研究員 今瀬 勉

「SfM・MVS の利用及び派生効果の活用について」

研究員 西村右文

15:20～15:35 休憩（15 分）

15:35～17:00

第 3 部門テーマ 「筆界立会いの代理権・立会要請権・筆界調査権・筆界認証権
に関する研究」（（各 25 分×3 人）及び質疑応答 10 分）

1 社会的事情からの考察

研究員 宮嶋 泰

2 実務的な視点からの考察

研究員 江口 滋

3 法律的な見地からの考察

研究員 田中淳子

（愛知学院大学法科大学院教授）

17:00～17:10 事務連絡

第2日 (3/17)

司会 藤井理事

09:15～10:00

第4部門テーマ 「空家対策法に対する問題点に関する研究」

(40分及び質疑応答5分)

「空家対策法に対する問題点に関する研究」(発表は、若園・吉原各研究員)

研究員 若園知明・石井幸世・吉原祥子(東京財団研究員)

10:00～10:10 休憩(10分)

10:10～11:35

第5部門テーマ 「諸外国の地籍制度に関する研究」

(各20分×4人)及び質疑応答5分)

「カンボジアの不動産の制度(土地・建物・区分建物について)」

研究員 山田明弘

「台湾の地籍制度に関する研究」(第1部 「台湾地政の現状」)

研究員 戸田和章

共同発表(第2部 「台湾地政の発展方向」)

元研究員 藤原豪紀

「南アジアの地籍制度と土地行政の比較研究」

研究員 月原敏博

(福井大学国際地域学部教授)

11:35～12:20

第6部門テーマ 「地籍管理に関する国際標準化についての研究」

(40分及び質疑応答5分)

「諸外国におけるLADM準拠土地管理システム」(20分)

研究員 山中 匠

「Cadastre という定義とは？」(20分)

研究員 藤木政和

(基調講演において発表)

研究員 新美育文

12:20～12:27 総括(7分)

12:27～12:30 閉会の言葉